

**事業所名** グループホーム ももたろうの郷ひなた苑  
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成20年 3月 7日

**評価機関名** ㈱東京リーガルマインド  
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

**評価調査員**  
A:現職 高等学校非常勤講師  
資格・経験 看護師、社会福祉士、福祉住環境コーディネーター  
B:現職 社会福祉法人生活指導員  
資格・経験 身体障害者職業生活指導員、社会福祉主事、ホームヘルパー2級、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー

**自主評価結果を見る** (事業者の自主評価結果にリンクします)

**評価項目の内容を見る** (評価項目にリンクします)

**事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)**  
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

### 外部評価の結果

**講評**  
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

- ・足元の昔ながらの町並みを残す地区にあり、名勝地近水園に隣接している。周囲は、交通量も少なく、四季折々の自然の変化を楽しみながら散歩などを楽しむことができる。小学校・公民館・役所・スーパーマーケットなども近く、生活しやすい環境である。
- ・ひなた苑の名のごとく、日がよく当たる明るい環境である。加えて、職員も明るく、入居者の精神的安定が図られているグループホームである。
- ・入居者や家族の意見をよく汲み上げて介護計画に生かしている。介護計画に沿って生活を支援し、実践や評価も分かりやすい記録である。
- ・毎月、いろいろな行事を企画し、変化のある生活を支援している。外食やドライブの機会も多く、入居者の希望を取り入れながら支援している。身体状況により遠方に出かけられなかったり、外食ができない入居者に対しても、少人数でドライブに出かけるなどの配慮をしている。
- ・広いホール、豊のスペースや小ホール、テラスなど居場所がたくさんある。入居者一人ひとりのレベルの違いや趣味の違いなどがあり、それぞれ思い思いの場所で自由に過ごすことができている。職員には、一緒に住んでいる入居者同士が関わりを持ちながら楽しく暮らして欲しいという気持ちもあり、それを補うためにみんなで取り組めることにも気を配っている。
- ・職員は、サービスの質の向上に向け勉強会を開催し、研鑽している。認知症に対する勉強もよくできている。
- ・高齢者の身体機能の低下に配慮し、機能の低下が見られても、できるだけグループホーム内でQOLを追求した生活を送れるように配慮し、機械浴を設置したり、車いす利用の入居者が生活しやすいような設えがある。

**特に改善の余地があると思われる点(記述)**

- ・特筆すべき事項は見当たらなかった。

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
<b>記述項目</b>	<b>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで暮らしてきた生活スタイルを基本に、その人らしい生活が継続できるように支援している。</li> <li>・家庭的な雰囲気のある環境のもとで、入居者一人ひとりが残存能力を生かし、何らかの役割を持って安心して日常生活を送りながら、生活の質を高めていけることを目指している。</li> <li>・職員とのゆっくりとした関わりを通して、孤独感を解消していくことを目指している。</li> <li>・入居者にとっても家族にとっても、安心して笑顔がいっぱい見られるような生活を支援していきたいと考えている。</li> </ul>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
<b>記述項目</b>	<b>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員との信頼関係の構築を大切にし、コミュニケーションを図っている。</li> <li>・職員は、あわてず落ち着いて、ゆったり思いやりをもって入居者に接することを心がけている。</li> <li>・入居者のペースに合わせ、一人ひとりが過ごしやすい場所、落ち着ける場所で暮らせるように支援している。入居者は、両ユニット間を自由に行き来し、思い思いの場所で過ごしている。</li> </ul>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
<b>記述項目</b>	<b>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共用空間には、洗濯機などの道具を手に取れる位置に準備し、したくなった時にはいつでも取り組めるように配慮している。</li> <li>・入居者の得意なこと、好きなことを把握し、生き甲斐作りに努めている。例えば、話好きの入居者には話の輪に参加できるように支援している。</li> <li>・習字が得意な入居者の若い頃の作品を玄関ホールに飾ったり、職員の字を見せようなど、入居者一人ひとりの経験を尊重した支援をしている。</li> <li>・プライバシーの保護に関しては、ホーム内で知り得たことを口外しない、排泄に関することは他者に気づかれないよう耳元で小声で話すなどの配慮をしている。</li> </ul>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
<b>記述項目</b>	<b>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、勉強会を開催し、サービスの質の向上に向け、知識の習得に努めている。</li> <li>・行事計画書があり、開催後は反省会を開催し、次のサービスにつなげている。</li> <li>・家族や入居者の苦情や要望を記入するシートがあり、それぞれ対処したことを記録に残している。味付けに対する要望、食事摂取量に対する要望、水分摂取に対する要望、趣味への取り組みに対する要望など、満足が得られるように対処していることがうかがえる。</li> </ul>		